

## 第10回 広域系統整備委員会コスト等検証小委員会 議事要旨

日時 2019年7月29日(月) 13:30～15:30

場所 電力広域的運営推進機関 豊洲事務所B、C会議室

出席者

<委員>

加藤 政一 委員長(東京電機大学 工学部電気電子工学科 教授)  
田中 誠 委員(政策研究大学院大学 教授)  
新里 智弘 委員(公認会計士)  
原 修次 委員(東海旅客鉄道(株) 建設工事部 担当部長)  
木戸 啓人 委員(九州電力(株) 送配電カンパニー 技術計画部長)  
山田 力 代理(関西電力(株) 送配電カンパニー 工務部 系統計画グループ  
チーフマネージャー)

<オブザーバー>

【事業実施主体】

伊藤 康雄 (電源開発(株) 流通システム部 流通計画室 室長代理)  
山本 竜也 (電源開発(株) 資材調達部 機器調達室 総括マネージャー)  
松本 英之 (東京電力パワーグリッド(株) 資材調達センター 調達企画グループ  
グループマネージャー)  
南 亮太郎 (東京電力パワーグリッド(株) 技術総括室 広域連系技術グループ  
グループマネージャー)  
大山 啓介 (東北電力(株) ビジネスサポート本部 資材部 副部長)  
倉成 祐幸 (東北電力(株) 送配電カンパニー 送変電建設センター 所長)

欠席者:

藤岡 直人 委員(関西電力(株) 送配電カンパニー 工務部長)

配布資料

- (資料1) 東京中部間連系設備及び東北東京間連系線に係る広域系統整備計画  
「主要設備」の予報発注前段階での検証
- (資料2) 「東北東京間連系線に係る広域系統整備計画」  
「東京中部間連系設備に係る広域系統整備計画」  
送電線工事(主要設備)に係る発注方式・コスト低減方策について

## 議題 1. 東京中部間連系設備及び東北東京間連系線に係る広域系統整備計画「主要設備」の 予報発注前段階での検証

- ・事務局から資料 1 により、東京中部間連系設備及び東北東京間連系線に係る広域系統整備計画の主要設備（鉄塔材・電線）について、予報発注前段階での検証において確認すべき事項について説明があった。
- ・東北東京間連系線の事業実施主体であるオブザーバーの東北電力および、東京中部間連系設備の事業実施主体であるオブザーバーの電源開発・東京電力パワーグリッドから資料 2 により、主要設備の予報発注前段階における発注方式、コスト低減方策について説明があった。
- ・事務局から予報発注前段階での検証における論点、検証結果について説明があった。

(主な意見、質疑等)

- ・海外メーカーへの働きかけ方に関する質疑があり、オブザーバーから公募の段階で英語版の募集要項を作成しホームページに掲載していること等について説明された。
- ・予報発注後に鉄塔材と電線メーカーが行う準備の違いについて質疑があり、オブザーバーからメーカーの規模によって異なる部分はあるが、基本的には増産体制整備が必要になる等、大きな違いがないことが説明された。

東京中部間連系設備及び東北東京間連系線に係る主要設備の発注方式、調達プロセスにおけるコスト低減方策について、概ね委員の了解が得られた。

このため、今回の検証結果を踏まえ、予報発注の手続きを開始することとした。

また、今後の発注手続きにあたっては、更なるコスト低減を図るとともに、その他の工事についてもコスト低減に向け取り組むこととした。

以上